



2020 会 告 No.9

◇通知・案内事項

○化学工学会第51回秋季大会 概要……………本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2020)	(2021)
<ul style="list-style-type: none"> ◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会 ◇学生発表会(東地区) <li style="padding-left: 20px;">(西地区) 	9/24～26(オンライン)	3/20～22(芝浦工業大学) 9/22～24(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年9月 September			
3～4	第44回 基礎化学工学演習講座(第1クール)特別ライブ配信(オンライン)		8号6
10～11	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		4号12
11	第34回公開講演会-講演&展示-(オンライン)	9月2日(水)	8号7
11～12	第28回東北支部若手の会セミナー(秋田県)		8号6
11～12	第25回東北ジョイント夏季セミナー(秋田県)		8号6
24～26	化学工学会第51回秋季大会(オンライン)		本号5
25～26	第46回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」伊豆セッション(静岡県)		6号7
26～27	令和2年度化学系学協会東北大会(青森県)		4号14
2020年10月 October			
7	いまさら化学工学シリーズ第3回「反応工学編」(10/7-11/11の全4回)(大阪府)	9月18日(金)	本号11
13～14	粉体エンジニア早期養成講座【乾燥】(静岡県)		5号9
17	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		6号6
22	第7回ものづくり技術セミナー「炭素繊維強化プラスチック(CFRP/CFRTP)のものづくり技術」(東京都)		本号10
22～23	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(大阪府)		5号9
22～23	第46回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」東海セッション(愛知県)		6号7
2020年11月 November			
7～8	第51回中部化学関係学協会支部連合秋季大会講演募集(愛知県)		7号6
27～28	第46回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」幕張セッション(千葉県)		6号7
2020年12月 December			
11～12	化学工学会 広島大会2020(広島県)	10月16日(金)	本号11
2021年1月 January			
28～29	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		5号9
2021年2月 February			
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		5号9
25～26	粉体エンジニア早期養成講座【粉砕】(大阪府)		5号9
2021年3月 March			
20～22	化学工学会第86年会(東京都)		

2021年9月 September			
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
12月5日	第33回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2020) (オンライン)	9月14日(月)	本号11
2021年7月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021 (PSE 2021) (京都府)	9月20日(日) まで延長	6号8
2021年8月16～19日	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第59回粉体入門セミナー I 「粉体とは何だろうか?～その性質と評価～」(オンライン)	9月1～2日(火～水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
第22回X線分析講習会 蛍光X線分析の実際(第11回) (神奈川県)	9月1～3日(火～木)	日本分析化学会 X線分析研究懇談会	042-754-7111 k-nakano@azabu-u.ac.jp
公開シンポジウム 「第6回理論応用力学シンポジウム-若手研究者シンポジウム-」(オンライン)	9月1～3日(火～木)	日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会	092-802-3100 (092-802-3098) takata@mech.kyushu-u.ac.jp
第37回センシングフォーラム 計測部門大会 ～新たな地平を切り開くセンシング～(高知県)	9月3～4日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 bumon@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf37.html
第36回ファジィシステムシンポジウム 「ファジィには、未来を変える力がある」(福岡県)	9月7～9日(月～水)	日本知能情報ファジィ学会(SOFT)	http://fss.j-soft.org/2020/
資源・素材2020(仙台) - 2020年度資源・素材関係学協会合同秋季大会 - (宮城県)	9月8～10日 (火～木)	資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2020b/top?lang=ja
2020年度工学教育研究講演会(北海道)	9月9～11日 (水～金)	日本工学教育協会、北海道工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
第22回日本感性工学会大会(東京都)	9月9～11日 (水～金)	日本感性工学会	jske22@jske.org https://www.jske.org/taikai/jske22
2020年度日本冷凍空調学会年次大会(オンライン)	9月9～11日 (水～金)	日本冷凍空調学会	https://jsrae-nenji.org/nenji2020/
ケミカルマテリアル Japan2020(神奈川県)	9月16～17日 (水～木)	化学工業日报社	https://www.chemmate.jp/
スケジューリング・シンポジウム2020(大阪府)	9月17～18日 (木～金)	スケジューリング学会	078-803-6250 (078-803-6391) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/symposium/2019/
第30回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2020) 秋季大会(大阪府)	9月17～18日 (木～金)	エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 mes2020@jipec.or.jp http://jipec.or.jp/

No.20-23 講習会 『伝熱工学資料（改訂第5版）』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用（東京都）	9月17～18日 （木～金）	日本機械学会	03-5360-3501 t.shinohara@jsme.or.jp
第60回粉体入門セミナーⅡ 「粉をつくり、そして利用するために」(オンライン)	9月17～18日 （木～金）	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
SPring-8シンポジウム2020 ーポスト・コロナ時代のSPring-8利用ー(オンライン)	9月18日(金)	SPring-8 ユーザー 共同体 (SPRUC), 高輝度光科学研究 センター, 理化学 研究所放射光科学 研究センター	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2020@spring8.or.jp
日本流体力学会年会2020(山口県)	9月18～20日 （金～日）	日本流体力学会	nenkai20-mch@mlex.cc.yamaguchi-u. ac.jp http://www2.nagare.or.jp/nenkai2020/
未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西 ービヨンド・ゼロの実現に向けてー(大阪府)	9月24日(木)	地球環境産業技術 研究機構(RITE)	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp
第48回可視化情報シンポジウム(鹿児島県)	9月24～26日 （木～土）	可視化情報学会	0948-29-7763 futiwaki@mse.kyutech.ac.jp https://www.vsj.jp/symp2020/
第44回静電気学会全国大会(オンライン)	9月24～25日 （木～金）	静電気学会	03-3815-4171 iesj@iesj.org http://www.iesj.org/academic/zenkoku/
第61回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(オンライン)	10月1～2日 （木～金）	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
日本マイクロ重力応用学会 第32回学術講演会(オンライン)	10月4～7日 （日～水）	日本マイクログラ ビティ応用学会	04-2959-9143 (04-2959-9143) jasmac-32@jasma.info http://www.jasma.info/jasmac-32/
第72回白石記念講座 「進化するポリマーー自動車における金属材料との共存共栄ー」(東京都)	10月6日(火)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu72ou3z8
第241回西山記念講座 「最近の電気炉技術の進歩ー平成30年間を振り返るー」 (大阪府)	10月14日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/muenunwmn
第68回レオロジー討論会(岩手県)	10月21～23日 （水～金）	日本レオロジー学 会, 日本バイオレ オロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第242回西山記念講座 「最近の電気炉技術の進歩ー平成30年間を振り返るー」 (東京都)	10月22日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/muenunwmn
第57回石炭科学会議(香川県)	10月27～28日 （火～水）	日本エネルギー学 会 石炭科学部会, コークス工学研究 部会, 重質油部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan57sanka@jic.or.jp
第41回日本熱物性シンポジウム(神奈川県)	10月28～30日 （水～金）	日本熱物性学会	042-759-6213 (042-759-6212) info2020@jstp-symp.org http://jstp-symp.org/symp2020/index.html
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月15～19日 （日～木）	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9

第63回自動制御連合講演会(富山県)	11月18～20日 (水～金)	計測自動制御学会	rengo63@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/rengo63/
国際粉体工業展東京2020(東京都)	11月18～20日 (水～金)	日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2020@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第36回ゼオライト研究発表会(富山県)	11月19～20日 (木～金)	日本ゼオライト学会	076-445-6925 (076-445-6931) tsubaki@eng.u-toyama.ac.jp https://jza-online.org/events
第42回ドライプロセス国際シンポジウム(DSP2020)(東京都)	11月19～20日 (木～金)	第42回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2020@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2020/
第11回イオン液体討論会(東京都)	11月19～20日 (木～金)	イオン液体研究会	11thmeeting@ilra.jp http://www.ilra.jp/
2020年日本表面真空学会学術講演会(オンライン)	11月19～21日 (木～土)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
2020合同WEB討論会 (第52回溶融塩化学討論会, 第44回電解技術討論会・ソーダ工業技術討論会, 第40回水素エネルギー協会大会(HESS大会))(オンライン)	11月26日～ 12月3日(木～木)	合同討論会実行委員会(水素エネルギー協会, 電解科学技術委員会, 溶融塩委員会)	2020goudou@hess.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/hessecsj2020/static/registration
第10回潜熱工学シンポジウム(兵庫県)	11月30日～ 12月1日(月～火)	日本潜熱工学研究会	078-803-6657 hidema@port.kobe-u.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/contact.html
Joint 11th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 21th International Symposium on Advanced Intelligent Systems(SCIS&ISIS2020)(オンライン)	12月5～8日 (土～火)	日本知能情報フレンジイ学会	scisis2020+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2020/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(COMPSAFE2020)(兵庫県)	12月8～11日 (火～金)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第40回レオロジー講座 -基礎と測定法-(東京都)	12月9～10日 (水～木)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第47回炭素材料学会年会(沖縄県)	12月9～11日 (水～金)	炭素材料学会	http://www.tanso.org/contents/event/conf2020/index.html
第15回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム(東京都)	12月9～11日 (水～金)	再生可能エネルギー協議会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info@renewableenergy.jp http://www.renewableenergy.jp
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020)(ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
第37回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2021(オンライン)	2021年 1月19～22日 (火～金)	日本膜学会・日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2021年 1月26～27日 (火～水)	エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第58回粉体に関する討論会(北海道)	2021年9月6～8日 (月～水)	第58回粉体に関する討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

化学工学会第51回秋季大会 概要

会 場：オンライン開催
 会 期：2020年9月24日(木)～26日(土)
 当日参加登録期間：2020年9月11日(金)～26日(土)12:00
 懇 親 会：中止
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/51f/>

化学工学会第51回秋季大会は、2020年9月24日(木)～26日(土)の3日間、オンラインで開催されます。当日参加登録を2020年9月11日(金)～26日(土)12:00に大会Webサイトにて受け付けますので、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症への対応として、すべてのセッションをオンライン開催とし、懇親会を含めて現地(岩手大学)での行事は一切行いません。また、講演要旨集(USBメモリ)は発行しますが、プログラム集(冊子)と参加証は発行しないこととなりました。ご了承ください。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。

式典

日時：9月25日(金)15:30～17:30
 会場：A会場(オンラインライブ配信)
 ライブ配信元：豊洲IHIビル低層棟3階大研修室
 (〒135-8710 東京都江東区豊洲3-1-1)

名誉会員推戴式、会長挨拶、学会表彰等授与式、学会賞受賞記念講演を行います。

学会賞等受賞記念講演

◇学会賞

A225(9月25日(金)17:00～17:30)
【池田亀三郎記念賞】
 高圧流体の輸送物性の測定と推算
 (中央大学)船造俊孝氏

◇研究賞

H213(9月25日(金)13:00～13:20)
【實吉雅郎記念賞】
 膜場を活用するBio-Inspired 化学工学に関する研究
 (大阪大学)馬越 大氏

I109(9月24日(木)11:40～12:00)

【玉置明善記念賞】
 難水溶性エステル合成を対象とした反応プロセス工学研究
 (東北大学)北川尚美氏

◇研究奨励賞

J115(9月24日(木)13:40～14:00)
【玉置明善記念賞】
 次世代高温潜熱蓄熱・熱輸送技術の開発
 (北海道大学)能村貴宏氏

S213(9月25日(金)13:00～13:20)
【内藤雅喜記念賞】
 イオン液体の特性を示すオルガノシリカ膜の開発とそのガス・蒸気透過機構評価に関する研究
 (大阪大学)廣田雄一朗氏

X106(9月24日(木)10:40～11:00)
【實吉雅郎記念賞】
 超臨界二酸化炭素を溶媒とした高速連続抽出分離技術の開発
 (産業技術総合研究所)藤井達也氏

◇技術賞

M306(9月26日(土)10:40～11:00)
 ビール醸造工程における酵母スラリー攪拌システムの開発
 (アサヒクオリティードイノベーションズ(株)) 川村公人氏・
 ((株)神鋼環境ソリューション)菊池雅彦氏・
 南 俊充氏・岡本幸道氏

◇女性賞

E206(9月25日(金)10:40～11:00)
 化粧品プロジェクトチームリーダーとしての活動
 (北海道曹達(株))北澤由梨亜氏

E204(9月25日(金)10:00～10:40)
 材料科学のための表面力測定の開拓
 (東北大学)栗原和枝氏

(以下、オーガナイザー敬称略)

化学工学ビジョンシンポジウム

第六回

未来社会のニーズに応える 化学工学のビジョン

日時：9月26日(土)9:00～12:05
 会場：A会場(オンライン配信)
 主催：戦略企画会議
 オーガナイザー：小野 努(岡山大学)、久保田伸彦((株)IHI)、下山裕介(東京工業大学)、所田綾子(千代田化工建設(株))、辻 佳子(東京大学)、渡邊 哲(京都大学)

化学工学会では、2036年に創立100周年を迎えます。本学会は2001年に策定した“Vision 2011”、そのレビューを踏まえた“Vision 2023”を行動指針として活動しています。私たちは、エネルギー・環境問題、少子高齢化問題、ポストCOVID-19など複雑多様化している社会的課題の解決と経済発展と人々のSufficiencyをすべて両立させる“Society 5.0”の実現に挑んでいます。このような状況に鑑み、本シンポジウムでは、今までの化学工学の実績と経験を振り返りつつ、Vision 2036に向けて、化学工学がなせること、化学工学に今後求められることを、皆さんと議論したいと思えます。新たな風を皆さんで起こすために、産学官の連携、学際融合、多様な価値観を大事にしながら老若男女が共に生きる学会を目指すために、多数の部会からの参加と議論を歓迎します。

プログラム(予定)
 (9:00～9:05)
 開会挨拶
 ((株)IHI エクゼクティブ・フェロー、
 化学工学会会長)石戸利典氏

【基調講演】

A301(9:05～9:35)
【招待講演】 化学産業から見た未来社会ニーズと化学工学—ビジョン2011と2023を振り返って(仮)
 (住友化学(株)相談役、元日本化学工業協会会長) 石飛 修氏

A302(9:35～10:05)
【招待講演】 デジタル時代の化学—数学連携(仮)
 (東北大学、総合科学技術・イノベーション会議議員)小谷元子氏

【社会の活性化に向けた次世代化学工学】
 A303(10:05～10:25)
【招待講演】 低炭素社会の実現に向けた化学工学の役割(仮)
 (東北大学)福島康裕氏

A304(10:25～10:45)
【招待講演】 各種研究プロジェクトの中で感じた化学工学の必要性和将来(仮)
 (九州大学)井上 元氏

【社会の活性化に向けた次世代化学産業】
 A305(10:45～11:05)
【招待講演】 2040年の社会に対する化学工学の関わり(仮)
 (ENEOSホールディングス(株)未来事業推進部) 古田智史氏

A306(11:05～11:25)
【招待講演】 調整中
【総合討論】
 (11:25～11:55)
 全員参加型パネルディスカッション
 (11:55～12:05)
 まとめ

特別シンポジウム

最新の注目テーマを、各界最前線で活躍されている方からご説明いただき、議論します。

エレクトロニクスを支える 材料・プロセス研究と実装技術の展開

日時：9月24日(木)13:20～17:00
 会場：B会場
 主催：エレクトロニクス部会
 共催：エレクトロニクス実装学会東北・北海道支部、電子情報通信学会電子部品・材料研究会、表面技術協会東北支部
 オーガナイザー：羽深 等(横浜国立大学)、齊藤丈靖(大阪府立大学)、及川 昭(住友バークライト(株))

現在と未来を支えるエレクトロニクス技術を展開し、関連する幅広い研究・開発を俯瞰することを試みるシンポジウムです。3つの学協会と連携し、最前線研究者による展望講演などを主

に議論します。

B114(13:20～14:00)
[招待講演] 東北地域のエレクトロニクス周辺産業の現状と今後の目指す方向性
(経済産業省 東北経済産業局) 蘆田和也氏

B116(14:00～14:40)
[招待講演] 分子接合技術による複合化材料開発とその表面界面分析
(岩手大学) 平原英俊氏

B119(15:00～15:40)
[招待講演] フレキシブルハイブリッドエレクトロニクスの基盤技術と応用展開
(山形大学) 時任静士氏

B121(15:40～16:20)
[招待講演] 次世代エレクトロニクスを支える分子接合技術
(株)いおう化学研究所 森 邦夫氏

B123(16:20～17:00)
[招待講演] 室温原子層堆積法の開発とイオン交換吸着膜への応用
(山形大学) 廣瀬文彦氏

医薬をシステム視点で俯瞰する

日時：9月24日(木) 13:00～17:00
会場：C会場
主催：システム・情報・シミュレーション部会 システム医薬分科会
共催：国際製薬技術協会 (ISPE) 日本本部
オーガナイザー：杉山弘和 (東京大学), 太田誠一 (東京大学), 矢作尚久 (慶應義塾大学), 田口智将 (千代田化工建設(株))

本シンポジウムの目的は、医薬分野の課題をシステム視点で俯瞰することです。多様な生体情報を用いた個別化診断、再生医療や細胞治療のような新規治療法、フロー合成・連続生産やオンデマンド生産のような新しい製法が開発される一方で、環境影響や余剰医薬品、社会医療費のような課題も顕在化しています。診断から治療・処方に至るプロセスの中で、分子・細胞・組織から製造、社会までのスケールでどのような研究課題があるのかを探ります。

C113(13:00～13:40)
[依頼講演] システム医薬～SIS部会新分科会そして新分野として～
(東京大学) 杉山弘和氏

C115(13:40～14:20)
[依頼講演] 生体をシステムとして捉えた診断用ナノ粒子の開発
(東京大学) 太田誠一氏

C117(14:20～15:00)
[招待講演] 命かオカネ? 命とオカネ? くすりの費用対効果
(横浜市立大学) 五十嵐中氏

C119(15:00～15:40)
[招待講演] 患者視点から実現する社会システムとしての医薬品“LOGISTICS”
(アルフレッサ(株)) 福神雄介氏

C121(15:40～16:20)
[依頼講演] 診療プロセスの技術化による医療の再定義
(慶應義塾大学) 矢作尚久氏

16:20～17:00
総合討論

産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性とCCUS技術の貢献

日時：9月25日(金) 9:00～15:20

会場：C会場
主催：戦略推進センター・次世代エネルギー社会検討委員会、戦略推進センター・CCUS研究会

共催：日本鉄鋼協会
オーガナイザー：古山通久 (信州大学), 高橋伸英 (信州大学), 中垣隆雄 (早稲田大学), 山田秀尚 ((公財)地球環境産業技術研究機構)

温室効果ガス(GHG)排出80%削減という2050年目標に向けた技術オプションとイノベーションに対する関心が高まる中、化学工学会戦略推進センター次世代エネルギー社会検討委員会において、産業部門の超低炭素化のカギとなる鉄鋼・化学産業に着目し、鉄鋼協会との連携も含め、検討を進めてきました。昨年度は部会横断型の研究会としてCCUS研究会も発足しました。本シンポジウムは次世代エネルギー社会検討委員会とCCUS研究会の合同シンポジウムとして企画し、GHG排出の大幅削減に向けた論点とその中のCCUS技術の位置づけを展望してみたいと考えます。

第1部 産業部門からのGHG排出大幅削減の可能性と課題

第1部では、GHG排出80%削減に向けたエネルギー需給の姿や、鉄鋼業の超低炭素化のための従来の延長線上にはない製鉄プロセスなどについて考えます。

第2部 CCUS技術の社会実装に向けた課題の俯瞰的整理

第2部では、CO₂の回収、利用、固定化技術の開発動向など幅広い講演を踏まえ、CCUS技術のGHG排出削減への寄与や、課題と道筋について議論します。

9:00～9:10
開会挨拶
(早稲田大学) 中垣隆雄氏

C202(9:10～9:50)
[依頼講演] 各種発電原価の将来展望と次世代エネルギー社会
(信州大学/株)X-Scientia) 古山通久氏

C204(9:50～10:30)
[依頼講演] CO₂大幅削減にむけての鉄鋼プロセスの将来像
(東北大学) 有山達郎氏

C206(10:40～11:20)
[依頼講演] カーボンニュートラル電力・化学品・鉄コプロダクション
(九州大学) 林潤一郎氏・工藤真二氏・(京都大学) 前 一廣氏

C208(11:20～12:00)
[招待講演] 気候変動リスクと機会：TCFDが広げる情報開示と高まる投資サイドの取り組み
(CDP ジャパン) 高瀬香絵氏

C213(13:00～13:40)
[依頼講演] CO₂利用に関する世界動向(第2報)
(一財)エネルギー総合工学研究所 黒沢厚志氏

C215(13:40～14:20)
[依頼講演] CO₂分離回収技術の研究開発動向
(国研) 産業技術総合研究所 遠藤 明氏

14:30～15:10
総合討論

15:10～15:20
閉会挨拶
(公財)地球環境産業技術研究機構) 中尾真一氏

SDGs達成に向けた札幌宣言の実行

日時：9月25日(金) 13:00～15:00
会場：B会場
主催：戦略推進センター・SDGs検討委員会、

女共同参画委員会、戦略推進センター・社会実装学研究会

協賛：日本化学工業協会、新化学技術推進協会
後援：国際連合工業開発機関(UNIDO)

オーガナイザー：平尾雅彦 (東京大学), 野田俊 (早稲田大学), 所 千晴 (早稲田大学), 福島康裕 (東北大学), 五所亜紀子 ((一社)日本化学工業協会), 福井祥文 ((公社)新化学技術推進協会)

化学工学会は、2019年9月APCCHE2019において『国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言-人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学-』と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、気候危機、小島嶼開発途上国の危機などの認識のもと、18の宣言文からなっています。AIやIoTなどの新技術を取り込み、女性の研究者・技術者を増やし、ジェンダー不平等の是正と多様性の取り入れによってすべての働く人々の就労環境の改善を図り、社会的弱者、難民への能力開発機会に寄与することを教育・研究・産業の役割として宣言しています。特徴は、EfficiencyからSufficiencyへ、すなわち効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革を謳っていることです。この宣言を学会内外に広め、実行に移すための方策を議論します。

B213(13:00～13:20)
[基調講演] 札幌宣言 EfficiencyからSufficiencyへ
(東北大学) 阿尻雅文氏

B214(13:20～13:40)
[招待講演] 女性技術者が製造現場で働くために-企業から見た課題と展望-
(三井化学(株)) 脇田友貴子氏

B215(13:40～14:00)
[招待講演] 化学工学分野における男女共同参画の現状と課題
(早稲田大学) 所 千晴氏

B216(14:00～14:20)
[招待講演] 国連の環境技術移転プロジェクト実施におけるジェンダー主流化とジョブ型雇用
(国際連合工業開発機関) 飯野福哉氏

14:20～14:45
グループ討議

14:45～15:00
総合討論

本部企画

CCUS研究会シンポジウム

日時：9月26日(土) 9:00～15:00
会場：D会場

主催：戦略推進センター・CCUS研究会、基礎物性部会、環境部会

オーガナイザー：町田 洋 (名古屋大学), 山田秀尚 ((公財)地球環境産業技術研究機構), 高橋伸英 (信州大学)

D301(9:00～9:40)
[展望講演] CO₂排出削減のためのカーボンリサイクル技術の方向性
(早稲田大学) 中垣隆雄氏

D303(9:40～10:00)
Calcium-loopingのセメントプラント、パワープラントへの応用
(応用物性研究所) 大場茂夫氏

D304(10:00～10:20)
吸着促進型逆シフトプロセスによる低温CO製造
(株)日立製作所) 吉川晃平氏

小野寺大剛氏・小田陽之氏・軍司 章氏・宇根本篤氏・杉政昌俊氏

D306(10:40～11:00)

銅系共沈触媒の新規合成法とその触媒特性

(九州大学)齊間 等氏・戸高昌俊氏・(JFE スチール(株))茂木康弘氏

D307(11:00～11:20)

炭酸アルカリ吸収液からの有機物の水熱合成と吸収液再生

(信州大学)水野 遼氏・嶋田五百里氏・長田光正氏・福長 博氏・高橋伸英氏

D308(11:20～11:40)

ピペラジン含有高分子膜によるCO₂分離回収：分離メカニズムの解明

(九州大学)谷口育雄氏・衣笠佳恵氏・小田友範氏

D309(11:40～12:00)

CO₂昇華現象を利用する新規CO₂分離回収法の提案と基礎検討

(名古屋大学)新實立夏氏・柳瀬慶一氏・チャクウイン氏・町田 洋氏・(東邦ガス(株))梅田良人氏・(名古屋大学)則永行庸氏

D313(13:00～13:40)

[依頼講演] 日揮グループのCCUSに対する取り組み

(日揮グローバル(株))藤村 靖氏

D315(13:40～14:00)

様々なCO₂分圧においてCO₂を可逆吸収可能な温度応答性アミン含有マイクロゲル粒子の設計

(九州大学)本田竜太郎氏・浜崎 央氏・三浦佳子氏・星野 友氏

D316(14:00～14:20)

相分離型吸収液を用いたCO₂吸収・再生速度評価及びCO₂分離回収装置の設計

(名古屋大学)鈴木健弘氏・Tran Khuyen氏・柳瀬慶一氏・町田 洋氏・則永行庸氏

D317(14:20～14:40)

アミンCO₂吸収法における再生熱予測のための熱力学モデルの構築

(早稲田大学)榊田隆之氏・松永真太郎氏・古川行夫氏

D318(14:40～15:00)

13C-NMR分光による非水系アミンCO₂吸収剤の熱力学研究

(早稲田大学)松永真太郎氏・榊田隆之氏・古川行夫氏

社会実装への化学工学の挑戦

日時：9月25日(金)13:00～14:40

会場：D会場

主催：戦略推進センター・社会実装学研究会
オーガナイザー：福島康裕(東北大学)

日々開発される膨大な要素技術のそれぞれが、どのような仕組みで何をどこまで提供できるのか、その知識の体系的な蓄積と理解がないと技術を使いこなす新たなシステムの設計はおぼつきません。一方で、要素技術ありきでこれをどう社会に実装するのか、という視点で行われる技術開発では、社会のあり方を変えることで立ち向かってくる大きな課題を解決するような新結合(イノベーション)は起こせません。またもう一方で、要素技術を創出し、とことん磨く研究も変わらず必要です。これらの研究をどのようにバランスし、構成し、事業化へとつなげていくのが大きな課題となってきました。また、社会をどう変えるのかというビジョン、そこに生まれるニーズ、これを満たすことが可能な技術と政策、制度、担い手を見だし、開拓していくスキームも必要です。社会実装学研究会では、これらを、産学官民で共同して進

めていくためには新たな学問領域が必要と考えています。物質やエネルギーの流れを俯瞰してきた化学工学には、さらに技術や社会のニーズといったことまでもその俯瞰の射程に加え、このような学問領域の形成を主導していくことができるでしょうか。

本シンポジウムでは、「社会実装学(仮)」という、「社会を前進させるのに貢献する技術をシステム化し、実装するための新しい学問領域」を化学工学に加えるための議論を行います。本部企画と銘打っていますが、一般講演を広く募集し、技術を社会に実装するためのヒントとなる事例の紹介、コンセプトの発表、経験の共有、レビューや考察を披露し、議論する場を設けます。ざっくばらんな意見交換の場として、皆さまの積極的なご参加をお待ち申し上げております。

D213(13:00～13:20)

[依頼講演] イノベーションを起こす技術者育成における工学教育の役割

(東北大学)廣森浩祐氏

D214(13:20～13:40)

新興技術としてのセルロースナノファイバー強化樹脂製造プロセスの設計と評価

(東京大学)兼松祐一郎氏・菊池康紀氏

D215(13:40～14:00)

東北地方の電力需給状況と自立分散型電源システムの導入効果

(福島大学)佐藤理夫氏・渡邊有紗氏・(ACDC)菊池吉浩氏・西貝定勝氏

14:00～14:40

パネルディスカッション

女性技術者ネットワーク

日時：9月25日(金)10:00～13:00

会場：E会場

主催：男女共同参画委員会

オーガナイザー：所 千晴(早稲田大学)、北川尚美(東北大学)、庄野 厚(東京理科大学)

女性ならではの悩みを共有し、同じような経験を持つ研究者や技術者と知り合いを増やしつつ、お互いの貴重な経験や悩みを共有することで、化学工学会に集う女性研究者・技術者に情報と交流の場を提供することを目的とします。

E204(10:00～10:40)

[女性賞]材料科学のための表面力測定の実験

(東北大学)栗原和枝氏

E206(10:40～11:00)

[女性賞]化粧品プロジェクトリーダーとしての活動

(北海道曹達(株))北澤由梨氏

E207(11:00～11:40)

[招待講演] 岩手大学における女性研究者・技術者支援の取組

(岩手大学)内藤和美氏

E210(12:00～12:30)

[依頼講演]「どろどろ、さらさらを科学する」研究室での活動

(山口大学)貝出 絢氏

E211(12:30～13:00)

[依頼講演]研究と教育と微粒子と私

(茨城大学)山内紀子氏

若手研究者が考える未来の化学工学研究

日時：9月26日(土)13:00～16:00

会場：E会場

主催：全国若手の会

オーガナイザー：平賀佑也(東北大学)、廣森浩祐(東北大学)、大田昌樹(東北大学)

異なるバックグラウンドをもつ若手研究者同士が、研究ポスターを前に、歓談しつつも遠慮なく議論を交わす、そんな場を提供したいと思えます。単位操作を基盤としたかつての化学工学は隆盛を極め、新たなフェーズへ移行する時期を迎えています。その枠組みを超越した未来の化学工学研究を、次世代を担う若手研究者が活力にあふれた発想に基づいて発信していきます。

なお、新型コロナウイルスの影響によって、従来のポスター発表から口頭発表に切り替えました。ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

13:00～13:05

オーガナイザー挨拶

E313(13:05～13:15)

[依頼講演] 酵素反応と多糖を用いたCpG DNA-(dA)m型アジュバントの合成

(北九州工業高等専門学校)高原茉莉氏・(北九州市立大学)松永拓也氏・望月慎一氏・櫻井和朗氏

E314(13:15～13:25)

[依頼講演] 機能性ナノ粒子の環境低負荷型合成法の開発

(山口大学)石井治之氏

E315(13:25～13:35)

[依頼講演] 水・二酸化炭素・超音波を用いたナノデバイスの調製

(福岡大学)相田 卓氏・シャーマン タンジナ氏・三島健司氏・立花克郎氏

E316(13:35～13:45)

[依頼講演] 超臨界CO₂の有効利用による新規多孔質材料創製プロセスの開発

(広島大学)宇敷育男氏

E317(13:45～13:55)

[依頼講演] マイクロ技術を利用したバイオマスからの有価物製造

(京都大学)村中陽介氏

E318(14:05～14:15)

[依頼講演] 多孔性配位錯体粒子の医薬分野への応用可能性

(大阪府立大学)大崎修司氏

E319(14:15～14:25)

[依頼講演] サステナブルに貢献する炭素繊維およびCFRPの開発

(名古屋大学)入澤寿平氏

E320(14:25～14:35)

[依頼講演] 疎水性ゼオライト膜の合成

(岐阜大学)近江靖則氏

E321(14:35～14:45)

[依頼講演] 炭素材料内部への無機物質の効率的ナノ微細担持技術の開発

(北海道大学)岩村振一郎氏

E322(14:45～14:55)

[依頼講演] 金属酸化物触媒を用いた水蒸気雰囲気下における重質油の軽質化

(北海道立総合研究機構工業試験場)近藤永樹氏・(北海道大学)吉川琢也氏・中坂佑太氏・(東京工業大学)多湖輝興氏・(北海道大学)増田隆夫氏

E323(15:05～15:15)

[依頼講演] フローマイクロリアクターを用いた単分散ポリスチレンの連続アニオン重合スケールアップ

(味の素(株)/MCPCSC-KU)遠藤裕太氏・中原祐一氏・(東邦化学工業(株)/MCPCSC-KU)古澤真維氏・((株)タクミナ/MCPCSC-KU)島崎寿也氏・(京都大学/MCPCSC-KU)高橋裕輔氏・永木愛一郎氏

E324(15:15～15:25)
[依頼講演] 高密度炭素担持銅微粒子触媒を用いたポリオール類の選択水素化脱酸素
(東京工業大学)藤塚大裕氏・中川航司氏・多湖輝興氏

E325(15:25～15:35)
[依頼講演] 熱・物質移動が強化された構造化プレート型反応器の提案—メタンCO₂改質への応用—
(国研)産業技術総合研究所)福田貴史氏

E326(15:35～15:45)
[依頼講演] マイクロ波加熱による癌温熱治療装置の開発と非侵襲温度計測技術の構築
(八戸工業高等専門学校)井関祐也氏

E327(15:45～15:55)
[依頼講演] 産業連関マテリアルフロー解析による製品中滞留炭素定量化
(東北大学)大野 肇氏

15:55～16:00
閉会挨拶

部会横断型シンポジウム

ST-21 プラズマプロセスの新展開

日時：9月25日(金)9:40～14:40

会場：M会場

主催：反応工学会、粒子・流体プロセス部会、熱工学会

プラズマプロセスは材料合成、医療や食品、環境などの広い分野において先端基盤技術として用いられているが、プロセスとしての体系化は進んでいないのが現状です。本シンポジウムでは、プラズマプロセスの基礎と応用に関する議論をもとに、化学工学における新たな展開を探ります。なお、学生による優秀な発表に対して、プラズマシンポジウム最優秀学生賞を贈呈します。

ST-22 CVD・ドライプロセス—構造・機能制御の反応工学—

日時：9月25日(金)9:20～15:20, 9月26日(土)9:00～14:20

会場：K会場

主催：反応工学会、超臨界流体部会、材料・界面部会

共催：CVD研究会、Cat-CVD研究会

CVD等のドライプロセスはエレクトロニクス、太陽電池、MEMS、機能性コーティング等の分野において重要な基幹技術となっている。本シンポジウムでは、CVDとその他のドライプロセスを利用した薄膜形成、微粒子合成、微細加工において反応工学的見地より反応メカニズムを理解し、論理的で効率的な反応プロセスや反応装置の開発を目指し議論することを目的とします。なお、優秀な発表をされた若手研究者には、CVD反応分科会奨励賞を贈呈します。

ST-23 次世代社会を支える電池・エネルギー変換・貯蔵技術(口頭発表部門)

日時：9月24日(木)9:20～14:20, 9月25日(金)9:00～15:20, 9月26日(土)9:00～15:00

会場：L会場

主催：エネルギー部会、反応工学会、材料・界面部会

本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術に関する講演を広く募集します。特に卒FIT後の電池・エネルギー変換システム技術開発について議論する特別講演時間枠を設けます。

ST-24 次世代社会を支える電池・エネルギー変換・貯蔵技術(ポスター発表部門)

日時：9月24日(木)14:40～17:40

会場：P会場

主催：エネルギー部会、反応工学会、材料・界面部会

本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術に関する発表を広く募集します。学生・若手研究者向けのポスター賞選考もありますので、時間をかけた議論を希望される方は、講演申し込みを宜しくお願いします。

ST-25 プロセス強化を目指した膜反応器研究の最前線

日時：9月25日(金)9:00～12:00

会場：S会場

主催：反応工学会、分離プロセス部会

次世代化学プロセスへの革新的な発展には、反応と分離という異なる操作の統合と、操作間の調和により現れるシナジー効果を活用するプロセス強化が必要になっています。本シンポジウムは招待講演と一般講演で構成し、最前線にある膜型反応器の研究開発事例について発表頂きます。分野横断的な議論を通じ、膜型反応器の設計指針の確立や新規な膜型反応器の開発、またその展望について議論を行うことを目的とします。

ST-26 バイオマスの熱化学・生物化学的変換の最新技術

日時：9月26日(土)10:40～16:20

会場：V会場

主催：エネルギー部会、バイオ部会

地球温暖化を抑制することを目的としたパリ協定の発効後、CO₂排出削減の動きは近年さらに加速しています。その中で、カーボンニュートラルなバイオマスの利活用技術への関心がさらに高まっています。そこで、本シンポジウムでは熱化学、生物化学的変換を中心としてバイオマスの利活用に関わる最新技術の開発動向を俯瞰するとともに、効果的な活用方法を議論する場とします。

部会シンポジウム

■基礎物性部会

SY-51 基礎物性部会シンポジウム

■粒子・流体プロセス部会

SY-52 熱物質流体工学の最前線2020

SY-53 気泡・液滴・微粒子分散工学2020

SY-54 粉体プロセスの進展2020

SY-55 ミキシング技術の最前線2020

■熱工学会部会

SY-56 熱工学会部会シンポジウム

■分離プロセス部会

SY-57(1) ポスターセッション

SY-58(2) 粒子・流体系分離プロセスの最先端

SY-59(3) 蒸留工学の新展開

SY-60(4) 吸着・イオン交換・抽出の最新動向

SY-61(5) 分離膜・膜プロセス開発の最新動向

SY-62(6) 膜産業技術セッション2020

■反応工学会部会

SY-63 資源・エネルギー・環境分野における反応工学の新展開

SY-64 ポスターセッション(フラッシュ発表あり)

SY-65 マイクロ化学プロセス技術の最新動向(学生賞あり)

■システム・情報・シミュレーション部会

SY-66 プロセス強化を志向したシステム手法の展開

SY-67 プロセスシステム工学の最近の進歩

SY-68 第19回プロセスデザイン学生コンテスト

■バイオ部会

SY-69 生物化学工学の新潮流2020(ポスター：フラッシュ発表は中止)

SY-70 次世代バイオ分離プロセス：抗体医薬から遺伝子・細胞治療まで[中止]

SY-71 高度な医薬食品生産の加速化をめざして～化学プロセス工学の先端技術活用～

SY-72 オミックスとAIの生物医学への応用

SY-73 医工学の新展開と化学工学の役割

■超臨界流体部会

SY-74 超臨界流体部会シンポジウム

■エネルギー部会

SY-75 エネルギー部会シンポジウム

■安全部会

SY-76 プロセス安全管理の課題とアプローチ

■エレクトロニクス部会

SY-77 エレクトロニクス材料とプロセス技術

■材料・界面部会

SY-78 材料・界面討論会～材料創製と界面研究の最先端～(口頭発表部門)

SY-79 材料・界面討論会～材料創製と界面研究の最先端～(ポスター発表部門)

SY-80 次世代物質・材料探索のための新たなアプローチ

SY-81 結晶化現象および晶析操作の新展開

SY-82 気液固分散系を基盤とした利用技術と応用展開

SY-83 ソフトマター工学研究の現在

■環境部会

SY-84 環境部会シンポジウム

■化学装置材料部会

SY-85 化学装置材料部会シンポジウム[中止]

参加登録方法

事前参加登録は終了しております。

事前参加登録されていない方は、当日参加登録をお願いいたします。

当日参加登録は、2020年9月11日(金)～26日(土)12:00に大会Webサイトにて受け付けます。

◇当日参加登録における年会費納入、会員資格の確認

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払状況を確認いたします。当該Webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいてからWeb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払状況に関するお問合せは、化学工学会本部(<http://www.scej.org/>)

をお願いします。

◇参加登録後のキャンセル(返金)について
一度ご入金されますと、理由の如何を問わず返金はできません。予めご了解ください。

◇講演要旨集について
講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ郵送いたしますが、会期に間に合わない可能性があります。ご了承ください。
なお、講演要旨集のディスクイメージファイル

ルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん、大会終了から3か月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみのご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会Webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について
大会Webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日 10:00~17:00

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第51回秋季大会 実行委員会
E-mail: inquiry-51f@www3.scej.org

参加費

大会参加費には講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	当日参加登録	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	12,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
海外正会員	12,000円	
海外連携会員	12,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	不課税
懇話会会員	15,000円	
部会個人賛助会員	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KIChE: 韓国化学工学会, TwIChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	30,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

地 域 C T



関 東 支 部

第7回 ものづくり技術セミナー 「炭素繊維強化プラスチック (CFRP/CFRTP)のものづくり技術」

主催 (公社)化学工学会関東支部
協賛 高分子学会, 先端材料技術協会, プラスチック成型加工学会, 化学工学会 開発型企業会の会, 化学工学会 化学装置材料部会, 化学工学会 環境部会, 日本材料学会, 日本複合材料学会

化学工学会関東支部では、ものづくりに関わる装置や技術を開発しているメーカーの方々をお招きし、開発の経緯や元になった考え方をご説明頂く『ものづくり技術セミナー』を開催しております。開発に纏わる生の話を企業で活躍されている技術者の方々に聴講頂き、「ものづくり技術の情報」を短時間で理解して頂く貴重な時間になることと存じます。

第7回は高強度軽量材料として、航空機や自動車用の新材料として注目を浴びる「炭素繊維強化プラスチック (CFRP/CFRTP) のものづくり技術」と題しまして、CFRPのものづくり技術の全体感、及びCFRPのものづくり技術として重要な成形、加工、分析に関わる技術・装置についての講演を予定しています。プラスチックの成形加工技術や新しい材料技術にご興味のある技術者の方々のご参加をお待ちしております。

日時 2020年10月22日(木)13:00～17:05
会場 東京工業大学大岡山南1号館2階215会議室
(地図: http://www.titech.ac.jp/about/campus_maps/ookayama.html)
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-11
TEL: 03-3726-1111(代表)
オンラインでの開催も同時に検討します。
交通 東京急行大井町線 目黒線 大岡山駅下車徒歩1分

プログラム

1. 開会の挨拶(13:00～13:05)
2. 講演1 炭素繊維強化プラスチック (CFRP/CFRTP)への期待と課題(13:05～14:05)
金沢工業大学 教授 影山裕史氏
3. 講演2 炭素繊維強化プラスチックの成形技術および装置(14:05～14:45)
(株)日本製鋼所 田代 晃氏
(株)日本製鋼所 千葉英貴氏
《休憩・講師への個別質問(14:45～15:00)》
4. 講演3 RTM成形の生産性UPへの取り組み(15:00～15:40)
ポリマーエンジニアリング(株) 加賀裕文氏
5. 講演4 炭素繊維強化プラスチックのレーザ接合と切断加工(15:40～16:20)
澁谷工業(株) 山岡圭一氏
6. 講演5 CFRPの資源循環を支える分析技術(16:20～17:00)
(株)島津製作所 草野英昭氏
7. 閉会の挨拶(17:00～17:05)

募集人数 40名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきます)
参加費 4,000円(参加費には消費税・テキスト代を含みます)

申込方法

・Web申込み
関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催のご案内の「第7回 ものづくり技術セミナー」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
・Fax, E-mailによる申込み
下記関東支部事務局宛、チラシの申込書又は申込書相当の必要事項ご記入の上お送りください。
申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内 公益社団法人 化学工学会 関東支部
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org
HP: <http://www.scej-kt.org>



関 西 支 部

いまさら化学工学シリーズ (第3回) [反応工学編]

主催 化学工学会関西支部
共催 関西大学環境都市工学部エネルギー・環境工学科

日時 2020年10月7日(水)・14日(水)・28日(水)・11月11日(水)17:00～20:00(全4回通し)
会場 関西大学梅田キャンパス (KANDAI MERISE)7階701号室(大阪市北区鶴野町1-5)〈交通〉阪急「梅田」駅茶屋町側から徒歩5分 JR「大阪」駅・Osaka Metro(地下鉄)「梅田」駅もしくは「東梅田」駅より徒歩約10分

6～7月に開催予定で、延期になっていました「いまさら化学工学シリーズ(第3回)[反応工学編]」を開催します。化学工学で重要な基礎科目の一つ「反応工学」を、4回にわたり丁寧に講義を行います。少人数の受講者で、和やかな雰囲気の中で中身の濃い学修ができます。

プログラム

- 第1講 反応速度式(10月7日)
反応速度の定義、素反応、定常状態近似、律速段階近似、酵素反応、アレニウスプロット
- 第2講 反応器の設計方程式(10月14日)
回分反応器、連続槽型反応器、管型反応器、定容系、非定容系、設計方程式
- 第3講 反応速度解析と反応器の基礎設計と操作(10月28日)
回分反応器を用いた反応速度解析(微分法、積分法)、最適な反応器の選択、直列連続槽型反応器、自触媒反応の最適操作、半回分反応器
- 第4講 複合反応、非等温反応、流通反応器の流れ(11月11日)
逐次反応、エネルギー収支式、滞留時間分布、拡散混合モデル、槽列モデル、組合せモデル
※テキストは「(改訂版)反応工学」(培風館発行、橋本健治著)を使用します。(受講者には無料でお渡しします)

講師 荻野博康氏(阪府大院工)

申込締切 9月18日(金)

定員 15名(先着順)

参加費 化学工学会正会員 50,000円, 化学工学会法人(懇話会含む)会員 75,000円, 会員外 100,000円(消費税, テキスト代を含む)

申込方法 用紙に標記タイトルを題記し、1)氏名、2)勤務先、職名、3)連絡先(所在地・電話番号・E-mail)、4)会員資格を明記の上、下記申込先にお申し込み下さい。参加費の送金は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店(普)]0405228(公益社団法人化学工学会関西支部名義)をご利用ください。

*本講座は4日通しの講義ですので、1日のみの参加はできません。

*受講者には参加証・テキストを送付します。(9月下旬頃)

申込先 公益社団法人化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org



中国 四 国 支 部

化学工学会 広島大会2020 講演募集

主催 化学工学会中国四国支部
共催 化学工学会関西支部、岡山地区化学工学懇話会、中国地区化学工学懇話会、徳島化学工学懇話会、山口地区化学工学懇話会
後援 広島観光コンベンションビューロー

日時 2020年12月11日(金)～12日(土)
会場 RCC文化センター(広島県広島市中区橋本町5-11)

講演申込期間 2020年9月14日(月)～10月16日(金)
要旨原稿受付 2020年11月2日(月)～11月13日(金)
事前参加申込 2020年11月2日(月)～11月27日(金)

※講演申込、要旨原稿提出、事前参加申込方法は、大会Webサイト<http://www2.scej.org/tyugokusikoku/>をご覧ください。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、変更となる可能性がございます。その際には大会WEBサイト等でお知らせします。

中国地区化学工学特別講演会「持続可能社会の実現に向けた化学産業の貢献」

[招待講演、一般公募なし]
オーガナイザー: 石神 徹(広島大学)、草川拓己(ダイセル)、榎 啓二(産業技術総合研究所)、杉浦 理(アサヒテックノリサーチ)、中井智司(広島大学)

1. 「広島大学のSDGsの取り組み: グローバル戦略と地方創生の融合」
広島大学 金子慎治氏
2. 「バイオマスからのC4化成品製造に関する実証」

(株)ダイセル ダイセル事業創出本部
新井 隆氏

3. 「脱石油, 脱合成, 微生物を利用した天然型
高分子の製造と材料化」

(株)カネカ バイオテクノロジー研究所
佐藤俊輔氏

4. 「三菱ケミカルにおけるDX推進事例」

三菱ケミカル(株)生産技術部 手塚理沙氏
一般研究発表

[口頭発表のみ, 一般公募有り]

※ポスター発表, 懇親会はございません。

参加費

一般会員*	5,000円	6,000円
学生会員**	2,000円	3,000円
会員外(一般)	12,000円	14,000円
会員外(学生)	3,000円	4,000円

*化学工学会の正会員, 法人会員, 部会特別会員,
部会賛助会員, 懇話会会員に適用します。

**化学工学会の学生会員, 部会学生会員に適用
します。

※一度, ご入金頂きますと, 理由の如何を問わ
ず返金できません。ご注意ください。

問い合わせ先

化学工学会中国四国支部 広島大会2020 実行委
員会

〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1
広島大学大学院先進理工系科学研究科化学工
学プログラム内
大会Webサイト: <http://www2.scej.org/tyugoku>
sikoku/
E-mail: scej-cb@ml.hiroshima-u.ac.jp



第33回化学工学に関する 国際シンポジウム (ISChE2020)

共催 化学工学会, 化学工学会九州支部, 韓国
化学工学会

本シンポジウムはアジアの学生の交流を目的
として毎年開催しています。今年は福岡市で開
催の予定でしたが, 新型コロナウイルス感染拡
大を防止するため, オンラインで開催いたしま
す。

日時 2020年12月5日(土)

会場 オンライン開催

発表形式 口頭発表はすべて英語で行う。(ポス

ター発表は行いません。)

申込締切 9月14日(月)

申込方法 研究室毎にお纏めの上, 下記にメー
ルで申し込みください。

[1]title of paper

[2]authors(発表者に下線)

[3]affiliation (department, university, city, postal
code)

[4]selection of session code (下記のセッションリ
ストの記号を記入ください。)

[5]研究室の連絡責任者氏名, 身分, 電話,
E-mail(日本語)

セッション名

A: Biotechnology B: Energy & Environment

C: Organic Materials D: Inorganic Materials

E: Reaction and Reactors F: Separation

G: Special Session

予稿用の論文締切は10月末です。論文の体裁
は昨年と同じです。初めて参加される方はご連
絡ください。要旨集は専用ホームページに掲載
し, シンポジウム参加者は閲覧できます。オン
ライン開催の詳細及び申込後の連絡はメールで
行います。

参加費 無料

申込先 〒860-0082 熊本市西区池田4-22-1

崇城大学工学部ナノサイエンス学科 草壁克
己

TEL: 096-326-3614

E-mail: kusakabe@nano.soyo-u.ac.jp

求人

☆兵庫県立大学大学院工学研究科 化学工学専攻 教授募集☆

募集人員: 1名

専門分野: 化学プロセス工学

応募資格: 博士の学位を有し, 上記専門分野の教育と研究に熱意と意欲
がある方

応募締切: 2020年9月30日(月)

問合せ先: 兵庫県立大学大学院工学研究科化学工学専攻 森下政夫

TEL: 079-267-4913

E-mail: koubo223@eng.u-hyogo.ac.jp